

仕事の

余白



内田 智子

沖縄ティーファクトリー社長

することで磨かれたように思います。ブレンド商品で「琉球紅茶」というブランドを生んだのです。

紅茶の仕事をしながら子育てする場所として選んだ沖縄の地に「赤土」という宝物を見つけ、「緯度」を知り「苗」の存在から全てが繋がって「紅茶」という新しい価値を沖縄で作るアイデアを見つけました。

最初から美味しい紅茶が作れるはずもなく、茶畑で紅茶の木を育ててくれた方々の存在が奇跡を起こしてくれました。紅茶は嗜好品ですから高品質になるまで大切に育てることを選びました。それは、沖縄が新しい紅茶産地としてデビューするためには不可欠なことでした。

思い描く紅茶を作れたのはブレンド技術があったからです。原料の良さしあしを見分け、それぞれを商品化

琉球紅茶の価値

「琉球紅茶」に生かされ、2009年に生まれた「月夜のかほり」という高級紅茶を作る環境をくれました。ブレンドした紅茶が沖縄を紅茶の産地として育ててくれたのです。私たちはプライドを持ってブレンドした紅茶を品質ごとに商品化していきます。原点である茶畑とともに、その価値を次の世代に伝えたいと願う続け取り組んでいます。